**ISAF 標準マッチレース帆走指示書**

(セーリング競技規則2013-2016に基づく)

（2013年1月版 ）

はじめに

標準レース公示(NoR) と標準帆走指示書 (SIs) のコンセプトは、それぞれの大会主催者に妥当な範囲での自由を与えるために、よく知られているオプションすべてを含めることにある。その中から特定のオプションを選択することにより、実際に用いるNoRとSIsは「標準」のままであり、従って、その内容は十分にテストされており、すべての関係者が容易に認識できることになる。多くのオプションが含まれているので、標準版は非常に長いように見えるかもしれない。しかしながら、必要のないオプションとコメント欄を削除した場合、それぞれの大会で用いるSI'sの長さは妥当なものとなる。大会で他のオプションが必要だったり、標準版の修正が必要だったりした場合には、次の版の作成時に考慮するので、ISAFへ提案を送っていただきたい。

横にあるコメントは、何らかの情報を与えているか、選択を促すかのいずれかである。コメントを削除するときは、そのうえで右クリックし、「コメントの削除」を選択する。

下位パラグラフを削除した場合、それに応じて番号を付け替える。パラグラフ全体を削除した場合、番号は付け替えず、そこに「予備」という語をいれる。このことで、例えば、「コース」は常にSIのパラグラフ10に常にあることが確実になり、いつでも容易に見つけられる。

これら標準SIをRRS付則C「マッチレース競技規則」と関連付けて読むことを覚えておいていただきたい。

標準NoRとSIsは一緒に用いるのがよい。しかしながら、NoRのパラグラフはSIで繰り返される。これにより、出来る限りSI'sのみで用が足りるようにした。

いつもの通り、この標準を改善するためのあなたの意見・提案は、いつでも歓迎される。

はじめるにあたって

この標準版を有効に使用するにあたって、少なくとも次の質問に自問自答しておかなければならない。

レジストレーション：

エントリー料はいくらか？

ダメージ・デポジットはいくらか？

OA（主催者）がダメージ・デポジットの残額を返却するのはいつか？

スキッパーあるいは／またはクルーの資格要件はあるか？

どんなスキッパー（チーム）がセーリングするのか？

競技者とのコミュニケーション：

陸上で信号はどこに掲示されるか？

公式掲示板はどこにあるか？

通告はいつ掲示されるか（フライトがスタートするどのくらい前か）？

競技者ミーティングはいつどこで開催されるか？

競技者：

それぞれの艇には何名のクルーが乗艇するか？

クルーの体重~~制限~~の上限はいくらか（もしあれば）？

体重制限がある場合、再計測もあるか？

コーチ・ボートは認められているか？

艇：

OA（主催者）が艇を用意するか？

どのようなタイプの艇が使用されるか？

艇はどのように識別されるか？

セールの組み合わせは制限されているか、またどのような信号で指示するか？

アンパイア：

インタナショナルジュリー（IJ）は任命されるか？

イベント・フォーマット：

イベント・フォーマットはどのようになるか？（ラウンドロビン、ノックアウト、その他）

どのように艇（主催者により用意されるのなら）を割り当てるか？

レース日程（レース予定、スタート時刻、その他）はどうなっているか？

その日の注意信号を発する時刻制限があるか？

コース：

どんなコースが使われるか？

使われるマークはどのようなものか？

レースコミッティーボートのアンカー・ラインにリミットマークはあるか？

レース海面に制限区域はあるか？（障害物ゾーン、安全航行区域、その他）

水上における諸事項：

メディアは来るか？

競技者は破損をどのように信号するか？

どのようなスタート手順が使われるか？

どのようなマーク変更手順が使われるか？

艇に搭載するよう求める用具はなにか？

障害を受けた乗員のダメージの程度を、競技者にどのように示して欲しいか？

**大会の名称 – 年度**

**ISAFグレード**

帆走指示書

略語:

PC – プロテスト委員会 RC – レース委員会

OA – 主催団体　　 　　　NA – 各国協会

RRS – セーリング競技規則 　　　SI – 帆走指示書

IJ –インターナショナル・ジュリー　　　NoR – レース公示

**1 規則**

1.1 本大会には以下の規則が適用される。

(a) RRSに定義された「規則」。付則Cを含む。

(b) 競技艇取扱い規則(SI 付属文書C)。これは練習やスポンサーレースにも適用される。クラスルールは適用しない。

(c) 適用される各国協会規定がある場合は、公式掲示板に掲示される。

1.2 RRS付則Nに従ってIJが任命され、各国協会による承認を受ける。上告の権利はRRS70.5によって否認される。

1.3 艇は、アンパイアに情報を送る為のオンボード・オブザーバーを乗せてレースするよう求められることがある。オブザーバーは、スターン付近に固定された重りによって重量の同等化をされる。オブザーバーはレース中、艇の帆走に参加せず、またクルーと会話しない。

1.4 RRS41に以下を追加する：(e)水中からクルーメンバーを助け上げ、艇上に戻すための援助。但し艇に戻すのは、水中から助け上げた場所の近くの場合に限る。

1.5　　RRS C6.2に以下を追加する：(e)クラス規則

1.6　　RRS C6.3を削除し、以下と置き換える：レース中で無くなるまでに生じた状況を理由に救済要求をしようとする艇は、その状況に気が付いた後できるだけ早く、赤色旗をはっきりと掲揚しなければならない。だたし、フィニッシュまたはリタイア後2分を超えてはならない。

1.7 RRS C8.6を削除し、以下と置き換える：マッチのアンパイアが、少なくとももう一人の別のアンパイアとともに、艇がルール14に違反し、損傷が起こったと判定した場合、彼らは審問なしにSI付属文書Eに示されたポイント・ペナルティーを課すことができる。競技者には実行できるようになればすぐにペナルティーを知らせなければならず、知らされた時に競技者は審問を要求することができる。その場合PCは規則C6.6に基づく手続きを進めなければならない。PCによって決定されるペナルティーは、アンパイアによって課されたペナルティーを越えることがある。アンパイアは、SI付属文書Eに示されたものよりも重いペナルティーが適当であると判断した場合は、規則C8.4に基づき処置しなければならない。

**2 参加と参加資格**

2.1 OA により招待されたスキッパーのみが本大会の参加資格がある。 招待の基準 . 参加を認められたスキッパーのリストをSI付属文書Aに示す。

2.2 参加資格を維持するためには、クルー全員の登録、参加料の支払い、 損傷のための$US金額 のデポジット、クルーの計量、これらすべてを日時 から 日時 の間に完了しなければならない。但し OAが延長した場合を除く。

2.3 ダメージ・デポジットはそれぞれの事故に対するそれぞれのスキッパーの責任限度額である。デポジットからの控除が行われた場合、スキッパーは参加資格を維持するためにデポジットを元の金額まで戻すよう求められる。

2.4 各スキッパーは乗艇した艇の損場や損失に対して責任がある。但し、アンパイアまたはPCが別に責任を割り当てた場合を除く。

2.5 マッチの予告信号後、登録スキッパーは、緊急の場合を除き、舵を離してはならない。

2.6 登録スキッパーが大会を継続できなくなった場合、 IJ/PC/OA は初期のクルーメンバーを交代として認めることがある。

2.7 登録クルーメンバーが大会を継続できなくなった場合、 IJ/PC/OA は交代、一時的な交代、または他の調整を認めることがある。

**3 競技者との連絡**

* 1. 競技者への通告は、場所. に設置された公式掲示板に掲示される。
	2. 陸上で発する信号は、 説明と場所.から掲揚される。
	3. スキッパーは、OAにより許された場合を除き、時刻と場所で行われる最初のブリーフィングに出席しなければならない。

3.4 アンパイアとの最初のミーティングは 時刻と場所で行われる。

3.5 毎日の朝のミーティングは、 時刻と場所で始められる。

3.6 スキッパーは、レースをした日は毎日、その日の最終レースのほぼ分 後に始められる場所 での記者会見に出席しなければならない。

**4 帆走指示書の変更**

4.1 陸上で行われるSIの変更は、影響を及ぼすレースのスタートの最低時間 前に掲示され、RCとPC/IJ の代表者により署名される。

4.2 最新の変更を示す数字旗の上に掲げたL旗が、艇がレース・コースへ向って陸を離れるまで、それぞれの日に陸上で掲揚される。

4.3 水上で行われる変更は、音響信号3声と共に第3代表旗を掲揚することにより信号が発せられる。アンパイアが、口頭か書面のいずれかでこのことを伝達することがある。

**5 艇とセール**

5.1 (a) 本大会は 艇 /クラス タイプの艇でレースを行う。

(b) 使用するセールはRCにより割り当てられる。

(c) 競技者は、スポンサーシップの義務を果たすため、シリーズ中にセールの交換を要請されることがある。このことは救済の理由とはならない。この項はRRS 62を変更している。

5.2 用いるセールの組み合わせは、注意信号とともにまたはその前に、RCボートから信号が発せられる。信号は以下のことを意味するものとする。

 信号 用いるセールの組み合わせ

5.3 その他の制限または指示は、艇に対しアンパイアより口頭でなされることがある。第3代表旗は必要としない。

5.4 RCは、各ステージでどの艇を用いるかを決定し、RCがある艇を用いない方がよいと決定した場合、その艇を割り当てられたスキッパーには、別の艇の一時使用を指示する。

5.5 IJ/PC/OA/RCは、元の艇が損傷を受け、その時点で有効な修理が受けられないと納得した場合、代わりの艇を許可することがある。

**6 艇の識別と割り当て**

6.1 艇は 艇の識別.により識別される。

6.2 メイン・セールには、OAにより支給された 文字またはスキッパーの名前 を表示しなければならない。

6.3 RCの決定に従って、艇は毎日の朝のミーティングで、または各ステージの始めに、くじ引きされる。

6.3 ステージの艇の割り当ては、事前のくじ引きに従って、OAが行う。

6.4 艇は、ペアリングリストとレース日程に従って交換される。

**7 クルーメンバー、人数と体重**

7.1 クルー（スキッパーを含む）の総数は、RCにより艇に配置された者を除き、数人または数人, でなければならない。登録されたクルー全員が、すべてのレースを帆走しなければならない。

7.2 クルーの計量

(a) スキッパーを含むクルーの合計体重は、少なくともパンツとシャツを着用した状態で、登録時またはRCにより指定された時に計量し、数 kgを超えてはならない

(b)　　クルーの体重はレガッタの最中にチェックされることがある。再計量においては、合計体重制限は10kg増加される。この増加された制限体重の超過は、ペナルティーを課されることはないが、再びレースする前に、増加された制限体重まで減量しなければならない。

7.3 乗員の体重制限に含まれないオーナーの代理人は、大会の間ずっと、それぞれの艇で帆走する。かれらの重量を同等にするために、それぞれの艇に重りをおくことがある。

**8 イベント・フォーマットとスタートのスケジュール**

8.1 イベント・フォーマットとペアリングリストはSIアペンディクスAおよびBで詳細に記す。フライトで帆走するマッチは、RCボートからスタートする順に表示される。

8.2 2名のスキッパー間のノックアウト・シリーズでは、

 (a) 　マッチごとに指定エンドを交替しなければならない。ペアリングリストで指定された場合を除き、最初の指定エンドはくじ引きにより決定されるものとする。この項はRRS C4.1を変更している。

(b) シリーズが決着した場合、この2名間でそれ以上のマッチを帆走することはない。

(c) クルーは、シリーズでの奇数のマッチの後、艇を交換する。

8.3 レース日は初日から最終日まで予定されている。

* 1. レース最終日に注意信号が発せられる最も遅い時刻は時刻.とする。

8.5 それぞれの日に帆走するマッチの数は、RCが決定する。

8.6 RCは、現在の状況または予定されている残りの時間では、残りのマッチを行おうとすることが実行不可能であると判断した場合、ステージまたは大会を終了させることができる。初期のステージは、後期のステージを行うために終了させることがある。

8.7 それぞれの日の最初の注意信号の予定時刻は、時刻である。

8.7 それぞれの日の最初の注意信号の予定時刻は、前日の時刻までに公式掲示板に掲示する。

8.8 引き続き行われるそれぞれのフライトは、実行可能な限り速やかに前のフライトに引き続いて開始される。

8.9 あるマッチが予定された時刻にスタートできない場合、次のマッチの信号とスタートは元の予定のままとし、スタートしないペアは空白のスタートのままとする。スタート・シークエンスの旗は、空白のスタートに対しては掲揚されない。

8.10 ノックアウト・シリーズで、あるシリーズの勝者が決定した場合、引き続き行われるスタートは、空白のスタートをなくすために前へ持ってくるものとする。競技者には、アンパイア. より口頭でそのことを伝える。

**9 レース・エリア**

レース・エリアは 説明.である。

**10 コース**

10.1 形状、信号と帆走すべきコース

 (a) 形状 (縮尺どおりではない)

 マーク W o

 マーク L o

 ｽﾀｰﾄ/ﾌｨﾆｯｼｭ･ﾗｲﾝ o-------------- o -------------o 代替のﾌｨﾆｯｼｭ･ﾗｲﾝ

(b) 信号と帆走すべきコース

コース信号は、予告信号と同時またはそれより前にRCボートのバウから掲揚される。

マークWとLは、スターボード回りで回航しなければならない。

信号 コース

信号なし スタート - W - L - W – フィニッシュ

S旗 スタート- W – フィニッシュ

(b) 信号と帆走すべきコース

コース信号は、予告信号と同時またはそれより前にRCボートのバウ, から掲揚される。

マークWとLは、スターボード回りで回航しなければならない。

信号 コース

数字旗 1 スタート-W-フィニッシュ

数字旗 2 スタート - W - L - W - フィニッシュ

数字旗 3 スタート- W - L - W - L - W - フィニッシュ

数字旗 4 スタート- W - L - W - L - W - L - W - フィニッシュ

10.2 形状、信号と帆走すべきコース

 (a) 形状(縮尺どおりではない)

 マーク WP o o マーク WS

 マーク L o

 ｽﾀｰﾄ/ﾌｨﾆｯｼｭ･ﾗｲﾝ o-------------- o------------o代替のﾌｨﾆｯｼｭ･ﾗｲﾝ

(b) コース信号と帆走すべきコース

コース信号は、予告信号と同時またはそれより前にRCボートの バウ から掲揚される。

緑色旗 は 「マーク WP, WS そしてL をスターボード回りで回航せよ」を意味する。

赤色旗は「マーク WS, WP そしてL をポート回りで回航せよ」を意味する。

信号 コース

緑色旗 スタート - WP - WS - L - WP - WS – フィニッシュ

緑色旗+ S旗 スタート - WP - WS - フィニッシュ

赤色旗 スタート - WS - WP - L - WS - WP - フィニッシュ

赤色旗+ S旗 スタート - WS - WP - フィニッシュ

 マークWPとWSは一緒にして設置することがある。

(c) マークの説明

 RC ボートは識別旗の説明によって識別される。

スタート／フィニッシュ・ラインのマークはマークの説明である。

マークW/WS および WP はマークの説明である。

マークL は マークの説明である。

置き換えマークは マークの説明である。

10.3 スタート／フィニッシュ・ライン

(a) スタート／フィニッシュ・ラインはスタート/フィニッシュ・マークのコース・サイドとRCボート上の説明の間の直線とする。

(b) スタート／フィニッシュ・ラインは２つのスタート/フィニッシュ・マークのコース・サイドを結ぶ直線とする。

(c) フィニッシュ・ラインは、RCボート上のオレンジ旗があるスタッフとフィニッシュ・ライン・マークのコース・サイドの間とする。

(d) ブイをキールの深さの直下のRCボートのアンカー・ラインに付けることがある。艇は、いかなる時もこのブイとRCボートとの間を通過してはならない。このブイは、RCボートのグランド・テークルの一部である。

10.4 **コースの制限**

(a) いくつかの説明ブイが、SI付属文書Fの図に示されているとおり、岸の近くに設置されることがある。レース中、艇のどの部分も、コースの同一の側にある2つの近接したブイ間の仮想の直線を横切ってはならない。このSIがフライトで効力を発する場合、G旗が注意信号と同時またはその前に掲揚される。

(b) レース中、艇のどの部分もエリアの説明で付属文書Fの図に示されたエリアの内側を帆走してはならない。

(c) これらの ラインまたはエリア は、障害物と位置づけられ、RRS第2章の目的における安全な航行の限界である。

 (d) これらのエリアを規定しているブイや物体への接触にはペナルティーを課さない。

(e) このSIの違反は、艇による抗議の対象とはならないが、RRS C8.2によるアンパイアの処置に属する。この項はRRS C6.2とC8.2を変更している。

10.5 **中止と短縮**

(a) RRS 32を削除し、以下と置き換える：「スタート信号後、RCは、なんらかの理由のために、可能な場合には担当アンパイアと協議後、マッチを中止または短縮することができる。」

(b) フライトの中で、視覚信号が数字旗の上に展開された場合、その信号は数字旗が示すマッチにのみ適用する。

**11** **破損と修理のための時間**

11.1 フライトの注意信号の前またはフィニッシュ後2分以内、または新しい艇への乗換え後5分以内のいずれか遅い方までに、艇またはセールの破損または損傷、あるいはクルーの負傷を合図し、次のスタートを遅らせるよう要請するために、L旗 を掲揚することができる。その艇は、できるだけ早くRCボートの風下に近くに進み、そこにとどまらなければならない。ただし、別の指示がある場合を除く。

11.2 修理に許される時間は、RCの裁量によるものとする。

11.3 フライトの注意信号後は、破損のためにマッチを延期または中止しない。ただし、SI 11.1により定められているとおりに、破損信号が掲揚された場合を除く。

11.4 規則 RRS 62.1 (b) が適用される場合を除き、許された時間内に修理を終えられなかったこと、または注意信号後の破損は、救済の理由とはならない。この項はRRS 62を変更している。

**12 スタートの手順**

12.1 マッチの予告信号は説明とする。

12.2 次のフライト番号をRCボートの説明.に表示する。

12.3 注意信号は、各フライトの最初のスタート信号の7分前に掲揚される。この項はRRS C3.1を変更している。

**13 風上マークの位置の変更**

13.1 フライトの最初のマッチのスタート後はコースの変更を行わない。ただし、フライトの最初の艇が前のマークを回航するまでなら、最初の風上マークについてはスタートするまでなら、いつでもマークを設置することができる。

13.1 コースの変更は、置き換えマークWを設置することにより行う。

13.2 引き続き行う変更は、元のマークに戻す。

13.2 コース変更の信号( RRS 33 とレース信号の変更)

(a) C旗と色つきの旗またはボードは「風上マークを移動した。旗またはボードと同じ色のマークへ向かえ」を意味する。

(b) スタート後のコース変更を特定のマッチにのみ適用する場合、当該数字旗により指示するものとする。

13.3 **信号を発する船**

(a) 最初のレグでコース変更を行う場合、信号は適用するそれぞれのマッチの準備信号と共にRCボートから掲揚する。準備信号には一連の反復音響信号を伴うものとする。

 (b) 最初のレグの後にコース変更の信号を発する場合、マークL付近にいるボートから掲揚するものとする。

**14 タイム・リミット**

14.1 相手艇がコースを完了しフィニッシュした後、5分以内にフィニッシュしない艇はDNFと記録される。この項はRRS 35 とA5を変更している。

**15 コーチ・ボート**

15.1 コーチ・ボートは、コーチしているチームの識別を目立つように表示しなければならない。

15.2 OAは、コーチがレースを観戦し、マッチの間隙にチームと会話できるように、ボートを用意する。個別のコーチ・ボートは認めない。

15.3 コーチ・ボートは認めない。

15.4 OAは、コーチ・ボート用のバースを提供する／提供しない。

15.5 コーチ・ボートによるレースまたは大会組織への妨害は、当該スキッパーまたはチームに対しIJ/PCの裁量で適用されるペナルティーをもたらすことがある。

**16 メディア、画像および音声**

16.1 OAにより求められた場合:

(a) OA により用意されたテレビジョン要員と機材（またはダミー）をレース中搭載しなければならない。

 (b) 競技者はレース中、OAにより用意されたマイクロフォンを装着し、OAまたはRCに指示された場合、インタビューに応じなければならない。

(c) 登録スキッパーはOAにより用意され、レースしている間コメンテーターが彼らと通信できるようにする、通信装置を装着しなければならない。

16.2 競技者はOAが用意したメディア装置の正常な作動を妨害してはならない。

16.3 OAは、大会中に記録された画像や音声を無償で使用する権利を有するものとする。

**17 賞**

17.1 第１位に対する主たる賞は説明である。

17.2 第１位の賞金 - $US 金額

第２位の賞金 - $US 金額

第３位の賞金 - $US 金額

etc.

17.3 これらの賞は各国協会の承認を得ている。

17.4 ISAF はこれらの賞金に関し届け出を受けている。

**18 行動規範**

18.1 競技者は、公式行事への出席、大会スポンサーへの協力を含む競技役員からの合理的な要求に従わなければならず、また大会の名誉を傷つけるような行動をしてはならない。

18.2 競技者は、艇と装備を適切な注意とシーマンシップで、SIアペンディクスCとDに従って、取り扱わなければならない。

18.3 レース中のスキッパー及び／あるいはクルーによる以下のような行為は、RRS8.3(c)に基づくスポーツマンシップ違反とみなされ、RRS C5.2またはC5.3によるアンパイア発議のペナルティーを課される場合がある。

・アンパイアの判定に対しての、言葉による過度な強要・指導あるいは感化しようとする試み

・アンパイアの判定に対する繰り返しまたは継続的な異議の表明（言葉によると否とにかかわらず）

・判定前後にアンパイアを罵ること（Call MR13も参照のこと）

18.4 このSIに対する違反はPC/IJ に付託される。ペナルティーは、[PC/IJ]の裁量に委ねられ、大会へのこれ以降の参加からの排除、賞金の没収、供託金の差押えを含めることができる。

18.5 このSIに対する重大な違反は、RRS69による処置を求めて、OAによって[PC/IJ]に付託されることができる。

**19 責任の否認**

大会に参加するすべての者は、自己のリスクで参加している。OA、その関係者および任命を受けた者は、原因が何であれ、発生したいかなる損害、損傷、傷害または不都合に対しても、その責任を受け入れない。

**SI 付属文書A – 参加資格のあるスキッパー・リストおよびペアリングリスト／ノックアウト表**

|  |  |
| --- | --- |
|  |  |

**SI 付属文書B – イベント・フォーマットおよびレース・スケジュール**

**イベント・フォーマット**

**SI 付属文書 C – 艇の取扱い規則**

**1** **全般**

艇をイコライズ（対等にすること）するためにすべての適切な過程が取られている限り、艇の差異は救済の根拠とはならない。この項はRRS 62を変更している。

**2 禁止されるアイテム（品目）と行為**

緊急時または損傷や負傷を予防するため、またはアンパイアが指示した場合を除き、次のことは禁止されている。

2.1 支給された装備に何かを付け加えたり省略したり、あるいは変更を施すこと。

2.2 意図された目的、または特に認められた目的以外に装備を使用すること。

2.3 RCの許可を得ずに装備を交換すること。

2.4 重大な損傷を引き起こすことが予期できるような方法で艇を帆走すること。

2.5 それ自体を使用しているときを除き、通常の保管位置から装備を移動すること。

2.6 前もって許可を得ずに艇に乗り込むこと。

2.7 必要とされる損傷供託金を支払わずに、あるいはRCの許可なしで、またはレース日において陸上で「AP」旗が陸上で掲揚されているときに、バースや係留場所から艇を受け取ること。

2.8 艇を上架したり、喫水線以下を清掃したりすること。

2.9 フラットナーをリーフとして使用すること。

2.10 スピンネーカーの帆布にラインを取り付けること。

2.11 たとえテルテールを取り付けるためであっても、セールに穴をあけること。

2.12 無線交信すること（携帯電話を含む）。但し損傷の報告、RCの要請に対して応答する場合を除く。

2.13 バックステイ以外のスタンディングリギンのテンションを調整したり変更したりすること。

2.14 メインシート、バックステイ、ヴァングの調整にウインチを用いること。

2.15 ライフラインのテンションを調整すること。

2.16 リーフラインをアウトホールとして使用すること。

2.17 フォアセールのシートを交差してウインチングすること。

2.18 ウインチにシートを取る前に、ヘッドセール・カーやターニング・ブロックを通す事を省くこと。

2.19 手持ち用コンパスと時計以外の電子機器を使用すること。

2.20 ハルおよびデッキにパーマネントインクで直接マーキングすること。

2.21 残痕を残すようなテープの使用／ダクト・テープの使用。

2.22 スピンネーカー・ポールを、フォアセールを張り出すために使用すること。

2.23 スタート信号後、クロースホールドで数秒以上帆走しているとき、メインブームの位置は、コックピットフロアーのブロックから出ているメインシート及びヴァングによってのみコントロールしなければならない。

2.24 タッキングやジャイビングを促進するため、あるいはクルーが艇の外に乗り出すのを助けるために、シュラウド（すべてのインナーシュラウドを含む）のロワーボトルスクリュー（タンバックル）より上部をつかむことは禁じられる。

2.25 コースの マークWP と WSの間のレグ上で、バウがそのレグの終わりのマークの2挺身に入るまでの間、スピンネーカーのヘッドをメインブームのグースネックより上にすること。

2.26      スピンネーカーをセットしたり展開したり取りこんだりする過程にある場合を除き、バウスプリットを伸ばすこと。バウスプリットはスピンネーカーを取り込んだ後の最初の妥当な機会に、完全に引き込まなくてはならない.

2.27 スピンネーカーをセットすることなく回航マークの2挺身ゾーンに入った後、コースの新しいレグに入る前に、バウスプリットを伸ばすこと。

2.28 SI C 2.22, 2.23, 2.24, 2.25 2.26または2.27 の違反は艇による抗議の対象とはならず、RRS C8.2に基づくアンパイアによる処置に属する。この項はRRS C6.2 と C8.2を変更している。

**3 容認されるアイテム（品目）と行為**

以下の項目は許される。

3.1 以下の装備を積み込むこと。

 (a) 基本的な手工具

 (b) 粘着テープ

 (c) ライン （弾力性の物か、そうでなければ直径4mm以下のもの)

 (d) マーキングペン

 (e) テルテール用の素材

 (f) 時計、タイマーおよび手持ち用コンパス

(g) シャックルおよびクレビスピン

(h) ベルクロテープ

(i)　 ボースンチェア

(j) 予備の旗

(k) PFD、OAが用意しない場合

3.2 以下のために3.1 の装備を用いること

 (a) ライン、セール、シートがもつれるのを防ぐ。

 (b) テルテールの取り付け。

 (c) セールの損傷または艇外への落下防止。

 (d) コントロールのセッティングをマークすること。

 (e) 小修理の実施と許された範囲での調整。

 (f) 付則C6に関する信号を発するため

 (g)　　個人の安全のため

3.3 スピンネーカー・シート・キャッチャーをバウに固定すること。但し、艇長を100mmより長く延長せず、かつ取り外し後の修理を必要としないこと。

3.4 メインシートの巻き数（purchase）を変えること。

**4 義務であるアイテム（品目）と行為　―以下は許可される。**

4.1 たとえダメージやロスの記録がなくても、艇を離れる前にダメージレポート文書を完成し、RCに提出すること。レポートには、ダメージの原因あるいは今後のレースで艇に不利益をもたらすかもしれない事柄の証言を含めなければならない。艇の乗換えが水上で行われる場合には、報告はRCに対し口頭でできるだけ早く行わなければならない。

4.2 セーリングしたそれぞれの日の終わりに以下を行うこと。

(a) 指示されたとおりにセールをたたみ、バッグに入れ、しまうこと。

(b) その日の始めに乗り込んだ時と同じようにきれいに清掃して艇を離れること。

(c) バックステイのテンションを緩めること。

4.3 最終日の終わりに特定の艇について、艇の清掃（キャビンとデッキ）、すべてのゴミ、テープやマークの除去。

4.4 いかなるやり方でも艇の装備の変更の要求は書面で行い、文面はYes/Noで回答できる文章でなければならない。

4.5 バースや係留場所との往復において、速度制限や航路標識を含むあらゆる規制に従うこと。

4.6 レース中はエンジン・ギアのレバーを後進の位置に入れておくこと。

4.7 本項の4.2と4.3違反は損傷とみなされ、修正する費用は損傷供託金から差し引かれる。

**SI 付属文書D – 装備リスト**

主催団体より用意された、固定されていない、下記の品目は、セーリング中常に指定された場所に積みこまれていなければならない。紛失があれば、毎日のダメージレポートで報告しなければならない。

**セールとセーリング装備**

メイン・セールとバテンのセット

スモール・ヘッド・セール

ラージ・ヘッド・セール

スピネーカー

ウィンチ・ハンドル1本

スピネーカー・ポール1本

スピネーカー・シート2本

ヘッド・セール・シート2本

ティラー・エクステンション

ゼノア・カー

**安全備品**

消火器

各乗員用ライフ・ジャケット

安全ハーネス

ボースンチェア

トーチ

フォグホーン

ボート・フック

救急箱

バケツとラニヤード

火炎信号

浮輪

ビルジ・ポンプ

**工具**

支給されたすべての工具

**グランド・テークル**

アンカーとチェーン

アンカー・ライン

**係留ラインとフェンダー**

係留ライン2本

フェンダー 2個

**ギャレー備品**

ランチ・ボックス

主催者より支給されたとおり

**燃料と水**

主催者より支給されたとおり

**SI 付属文書E– ダメージに対するペナルティー**

**マッチレースにおける艇間の接触の結果生じた損傷に対するペナルティー**

付則 C6.6 および C8.6は、艇が規則14に違反した場合にアンパイアまたはプロテスト委員会がペナルティーを決めることを認めている。この文書は、損傷をどのように査定するかを説明し、適切なペナルティーに関する一般的な指針を提供する。プロテスト委員会が妥当な理由を認めた場合には、別のペナルティーを適用することがある。

次の表に示すように、損傷は3つのレベルに分類される。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **レベル** | **程度**  | **効果**  |
| レベル A – 　マイナー・ダメージ  | 艇の価値や、全体的な外観、正常な運航に顕著な影響が無い。  | 大会後、軽度の表面上の作業を必要とするかもしれないが、艇は修理なしでレースすることができる。修理は通常1時間以内の作業で済む。 |
| レベル B – 　ダメージ  | 艇の価値および／あるいは全体的な外観に影響がある。 | 損傷は、そのレースにおける艇の正常な運航に影響しないが、再びレースする前にある程度の（一時的な）作業を必要とする。1時間より多くの作業を要するが、通常は3時間以内である。 |
| レベル C –　 メジャー・ダメージ | 正常な運航に障害があり、構造的な完全性が損なわれたかもしれない。 | 艇が再度レースするために一定の修理を必要とする。3時間より多くの作業を要する。  |

**ポイント・ペナルティー：審問なしに適用される。（これはRRS C8.6を変更している。）**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **レベル**  | **ラウンドロビン**  | **ノックアウト** |
| **A** | なし  | なし |
| **B**  | 半ポイント | 4分の３ポイント |
| **C**  | １ポイント  | １ポイント |

**SI 付属文書 F– コースの制限**